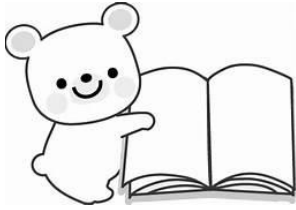


ほんじつ ～本日のおすすめの本①～



『ねずみのアナトール』

タイトス 作 ・ はまだみちこ 絵

ぶんけんしゅつばん
文研出版(1972年)

*この本は9類の書棚にあります。(貸出可能)

ねずみのアナトールは、いつも食べ物をもらっている人間たちに恩返ししようと、チーズ工場の試食室でチーズの味見をして、もっとおいしいチーズにするためのポイントを書いたカードをピンでとめています。たとえばこんな具合です。

「うまい。でも、しおを ひとつまみ いれること。アナトール」

「うまくない。ミルクがたりない。アナトール」

「まあまあ。もっと こしょうを すくなくする。 アナトール」

そのおかげで、チーズ工場はとってもおいしいチーズを作ることができるようになりました。

工場に入れられたロボットなんかより、アナトールの舌は確かです。

でも、ねずみのおかげで工場の売上げがのびているなんて…

ハラハラドキドキ、意外な展開と結末が待っています。

1972年(今から48年も前)にはじめて出版された古い本ですが、今でも子どもと大人の心を揺さぶる、すてきな本です。ぜひ、ご家族でお楽しみください。



じぶん でよ んら ねんせい ～ねんせい
自分で読むなら2年生～6年生

よみあかせをしてもらうなら1年生から楽しめます。

いつもは、きらわれ者のねずみですが、ねずみを物語の主人公にした本は世界中にたくさんあります。最も有名なのは、あのミッキーマウスかもしれませんね。

最近では「としょかんねずみ」ダニエル カーク作(瑞雲舎より出版)も絵がかわいくておすすめです。

おしらせ

がっこうとしょうかん
「学校図書館だより」は、毎月発行し、児童のみなさんにも配布します。

こちらの「本日のおすすめの本」は、週に2～3回ホームページ上でのみアップします。